

にしきまち 集落支援だより

令和5年1月1日No.25

明けましておめでとうございます。

本年も皆様にとって、

健康で、明るく楽しい年でありますように。

令和5年 卯の年 元旦

錦総合支所 地域振興課 集落支援員 三分一多恵子

山代神楽 共演大会

11月27日

回覧

向峠神楽保存会
頼政



久々の山代神楽共演大会でした。10組の団体が出演、決まった演目をそれぞれの神楽団が演じました。お囃子を聞き育った私達には心躍らせるようなリズムの中で神楽舞を楽しんで鑑賞することができました。

『守り、育て、伝える』とありました。子ども神楽も2組出演しており、お囃子の中にも子ども達がちらほら。伝統を継承されているのがわかります。この地域の神楽は石見神楽の流れを継いでいるようです。少々寒かったのですが、皆さん12時から4～5時間、一所懸命神楽舞を見て楽しんでいました。

コロナ禍の中自粛せざるを得なかった活動も、少しずつ動き始めたようです。応援したいですね。



上沼田神楽保存会
黄泉醜女

向峠地域

山本わさび園



わさびの苗



玉ねぎの苗は、
機械で植えます。

速い！



玉ねぎの苗



「山本わさび園」さんにお邪魔しました。玉ねぎとわさびの生産と苗の生産・販売の専業農家さんです。玉ねぎ苗40万本・わさび苗3万本、なんと桁外れな数です。セルトレイで育成された苗は根が傷まず丈夫で、そのまま定植できるので早く定着するそうです。6月には保育園児を迎え収穫体験をしています。子ども達は玉ねぎの先に緑の葉がついているのを知らないそうです。「新玉ねぎの時には、その葉も甘くとてもおいしく食べれるんですよ。子ども達が楽しんでくれば私たちも楽しいんです。」と言われていました。

連作障害にならないように3年に1度植える場所を変えるそうです。その時、榎本牧場さんと提携し、休ます畑に牛の餌となる燕麦を植えて交互作付けし、玉ねぎへの病虫害を防ぎます。すばらしい！！

向峠は、耕作放棄地の利用で作付け面積98%だそうです。耕作放棄地が少ないので広く綺麗に感じます。



榎本牧場

生後10日の
和牛の子牛

乳牛の子牛

「榎本牧場」さんにお邪魔しました。和牛・ジャージー牛・乳牛の3種類、約100頭を飼育しています。1頭の乳牛から約30Lの牛乳が取れます。榎本牧場では自家製の牛乳を使ってチーズを生産し、6次産業化されています。

子牛が3頭牛舎の中で飼育されていました。（^ω^）とてもかわいかったです。1年中休みなしのお仕事で大変ですねと話すと「とてもかわいいんです。かわいくなかったらお世話できません。」と牛を撫でながら話をされ、牛への愛をとて感じました。牛さん幸せですね。